

近畿厚生局長 殿

独立行政法人
開設者名 国立循環器病研究
理事長 橋本 信



国立循環器病研究センターの業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	101人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	134人	142人	234.7人	看護補助者	18人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	3人	0.4人	理学療法士	7人	臨床検査技師	61人
薬剤師	26人	7人	31.6人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助産師	15人	1人	15.8人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指庄	人
看護師	531人	4人	534.2人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	58人
管理栄養士	3人	2人	4.6人	診療放射線技師	41人	その他の職員	32人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	509.3人	0.0人	509.3人
1日当たり平均外来患者数	641.4人	2.1人	643.5人
1日当たり平均調剤数	638.00剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	7人	・膿疱性乾癬	
・多発性硬化症	5人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	3人	・原発性胆汁性肝硬変	
・全身性エリテマトーデス	25人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	
・再生不良性貧血		・混合性結合組織病	9人
・サルコイドーシス	72人	・原発性免疫不全症候群	
・筋萎縮性側索硬化症	1人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	14人	・網膜色素変性症	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	9人	・プリオン病	
・結節性動脈周囲炎	1人	・肺動脈性肺高血圧症	90人
・潰瘍性大腸炎	6人	・神経線維腫症	3人
・大動脈炎症候群	91人	・亜急性硬化性全脳炎	
・ビュルガー病	30人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡		・慢性血栓性肺高血圧症	93人
・脊髄小脳変性症	8人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病		・副腎白質ジストロフィー	
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎		・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	7人
・悪性関節リウマチ	1人	・脊髄性筋萎縮症	
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	14人	・球脊髄性筋萎縮症	
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	
・後縦靭帯骨化症	5人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病		・拘束型心筋症	
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	229人	・ミトコンドリア病	
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ管筋腫症(LAM)	
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	363人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)		・黄色靭帯骨化症	
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・不整脈疾患における遺伝子診断	・
・胎児心超音波検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

：「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 54 例 / 部検率 34.4%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
患者に合わせて鍼刺激を自動調節し、ヒト自律神経を確実に治療する、サーボ電気鍼臨床実用装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	15,600,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
自己細胞移植再生医工学における細胞播種手技の確立とPETによる組織再生過程の追跡	飯田 秀博	放射線医学部	7,534,000	補委 原子力試験研究費
PET胸部検査における体動補正システムの開発と定量的心筋機能評価の迅速・高精度化	渡部 浩司	放射線医学部	3,084,000	補委 原子力試験研究費
リガンド固定化相と細胞表面で形成されるソフト界面での動的現象の評価と応用	山岡 哲二	生体工学部	13,260,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
G蛋白質シグナルによる物質輸送ダイナミズムのバイオイメージング解析	望月 直樹	循環器形態部	13,600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
膜プロトンセンサーの細胞内イオンセンサーとの相互作用による活性制御機構の解明	若林 繁夫	循環分子生理部	11,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
アンジオポエチン-1/Tie2受容体シグナルの空間的・機能的制御機構の解明	福原 茂朋	循環器形態部	5,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13の基質認識・切断に対する細胞外環境の効果	宮田 敏行	病因部	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体関連分解を担うタンパク質複合体の全容解明とその標的タンパク質の同定	小亀 浩市	脈管生理部	3,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
血管内病態診断のためのマルチモダリティ画像重ね合わせ技術の開発	越野 一博	放射線医学部	780,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経における再生誘導能と表面修飾に関する研究	江橋 具	生体工学部	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
超分子ナノデバイスによる嚢胞性線維症に対する経肺遺伝子治療法の開発	鈴木 朗	バイオサイエンス部	1,430,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ダール食塩感受性高血圧ラットの候補遺伝子としてのP2rx4の解析	日浦 由美子	疫学部	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新規生理活性ペプチドの同定と機能解析による新しい生体調節機構の解明	森 健二	生化学部	1,950,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13変異マウスを用いた血栓性血小板減少性紫斑病発症修飾要因の探索	坂野 史明	脈管生理部	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
分子標的超音波造影剤を用いた非侵襲的分子イメージング法の開発	大谷 健太郎	再生医療部	1,950,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ペプチドーム解析より得られた内在性ペプチド群からの新規抗菌ペプチドの探索	尾崎 司	薬理部	2,860,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
筋機能調節システムの解明	佐藤 寛之	疫学部	2,210,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
CRPとLOX-1による血管機能病的変化誘導に関する研究	藤田 佳子	脈管生理部	2,210,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
多能性幹細胞由来血管前駆細胞の骨髄移植による戦略的血管再生療法の開発	山原 研一	再生医療部	2,210,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
腎臓構成細胞に作用する新規生理活性因子の同定と腎臓修復治療法の開発	澤井 一智	生化学部	2,730,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
皮下脂肪組織由来インスリン抵抗性改善因子の同定とその機能解明	宮澤 崇	生化学部	1,950,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新規受容体の同定によるデスアシルグレルインの作用機序及び生理的意義の解明	森 美和	生化学部	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
3D-PETによる心筋血流定量評価法の確立を目指した基礎実験	平野 祥之	放射線医学部	2,470,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新生児低酸素性虚血性脳症に対する新規治療法の開発および進行性脳損傷の機序解明	原田 和彦	生化学部	1,950,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
羊膜由来幹細胞の新生児脳室周囲白質軟化症への治療応用	佐々木 禎仁	医局(周産期)	3,120,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
循環器系人工組織のプレインプラネーションによる体内自己組織化	中谷 武嗣	臓器移植部	7,670,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
恒久的使用を目的とした空気圧駆動式ウェアラブル全置換型人工心臓の早期実用化研究	本間 章彦	人工臓器部	12,220,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
高感度分析による呼気診断解析システムの開発と臨床応用	下内 章人	病因部	21,710,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
小児重症心不全の治療成績向上のための補助循環システムの開発に関する総合的研究	巽 英介	人工臓器部	11,180,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
筋変性疾患におけるトランスポーター・チャネルの病態的意義の解明と治療への応用	若林 繁夫	循環分子生理部	5,720,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
適応制御を用いた薬剤投与による心不全血行動態の自動制御システムの開発	杉町 勝	循環動態機能部	4,420,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
細胞外マトリックス模倣型合成スキャホールドを用いた神経組織の再生	山岡 哲二	生体工学部	3,120,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の発症に直結する新規バイオマーカーの発見と早期診断・治療法の開発	池田 康行	病因部	5,590,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
体外循環装置における血液損傷低減を目指した血液空気混合の影響に関する研究	築谷 朋典	人工臓器部	1,690,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
血管新生のための血管内皮細胞特異的な乖離・接着調節機構の解明	望月 直樹	循環器形態部	4,940,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
抗血栓性因子の機能低下による血栓症発症の解明とその成果に基づく予防戦略の確立	宮田 敏行	病因部	4,550,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
循環管理を支援する自動治療システムを臨床実用化するための研究	神谷 厚範	循環動態機能部	6,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
再生組織のミクロ分離構造解析による成熟度の評価	高見沢 計一	生体工学部	8,190,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アデノシンによる心血管動態制御の解明と治療への応用に向けた基盤研究	北風 政史	臨床研究開発部	7,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
摂食促進ホルモンの自律神経系を介した心臓保護機序の解明	岸本 一郎	医局(代謝内科)	7,150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心移植待機患者の予後を改善するための補助循環および心筋再生併用療法の開発	武輪 能明	人工臓器部	5,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ハイドロキシアパタイト単結晶複合体ナノ界面の細胞機能	古 蘭 勉	生体工学部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
同位体酸素O-17を使用したMRI脳灌流計測技術開発	佐藤 博司	先進診断機器開発室	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋梗塞急性期における循環動態のコンピュータ制御による、迷走神経刺激治療法の確立	上村 和紀	循環動態機能部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
分子機能定量可能な局所拡大撮像SPECTのための画像再構成アルゴリズムの開発	銭谷 勉	放射線医学部	910,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
魚類における新規グレリン受容体の同定と作用連関の解明	海谷 啓之	生化学部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
構造解析にもとづくADAMTS13の基質認識・切断機構の解明	秋山 正志	病因部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
結晶構造に基づいたFERキナーゼの生理作用と制御メカニズムの解明	増田 道隆	循環器形態部	780,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
順遺伝学を基盤とした造血・心血管発生の分子メカニズムの解明	川原 敦雄	循環器形態部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
日米の血漿ホモシステイン、関連ビタミンB群および潜在性動脈硬化所見の比較研究	岡村 智教	予防検診部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋症・心不全発症におけるTRPV2チャネルの病態的役割の解明と治療薬の開発	岩田 裕子	循環分子生理部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超急性期脳卒中患者における24時間自由行動下血圧測定を用いた血圧動態の評価	豊田 一則	医局(脳血管内科)	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BMP-3bの新しいアディポサイトカインとしての機能解析	日野 純	生化学部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
β3インテグリンの機能調節に関わる分子のクローニングおよびその解析	本田 繁則	病因部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Nkx2-5遺伝子変異を持つ疾患モデルマウスの評価	荒井 勇二	バイオサイエンス部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
バーチャル心臓を用いた不整脈危険予測のための機能的モデリング手法の開発	中 沢 一 雄	研究機器管理室	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心疾患の危険因子である高トリグリセリド血症の網羅的成因解析システムの開発と応用	高 木 敦 子	薬理部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新たな心機能制御因子；Ca ²⁺ センサーNCX-1の生理的・病態的役割の解明	西 谷 友 重	循環分子生理部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
AMPD2欠損マウスを用いた肝ヌクレオチド調節による脂質代謝制御の検討	森 崎 裕 子	バイオサイエンス部	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
日本人代表コホートと大都市部コホートの比較による記述疫学研究	渡 邊 至	予防検診部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
機械的負荷および自律神経活動が心不全心の不整脈易発生基盤に及ぼす影響の解明	稲 垣 正 司	循環動態機能部	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新たな心不全診断・治療を見据えた心不全におけるスプライシング機構の役割解明	朝 倉 正 紀	心臓血管内科	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨格筋のプリン代謝に着目した糖脂質代謝制御機構の解明とその応用	森 崎 隆 幸	バイオサイエンス部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
摂食調節・生活習慣病関連新規ペプチドの同定およびその機能解析	宮 里 幹 也	生化学部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
グレリンによる中枢神経系を介した肝細胞増殖および再生機構の解明	細 田 洋 司	生化学部	2,080,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規ポリコム遺伝子Pcgf5の心臓形態形成に対する機能解析	白 井 学	バイオサイエンス部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レチノイン酸母体投与による大血管異常マウスでの二次心臓領域細胞の遺伝子異常の解析	白 石 公	小児循環器診療部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心・肺機能の神経性調節：低酸素下で生き延びる機構を探る	白 井 幹 康	心臓生理部	910,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
次世代型心循環機能シミュレータの開発	赤 川 英 毅	人工臓器部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
末期重症心不全に対する左室補助装置下の自己心再生への挑戦	藤 田 知 之	医局（心臓血管外科）	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
C末端アミド焦点化ペプチドーム解析に基づく新規生理活性ペプチドの同定と機能解析	若 林 真 樹	薬理部	1,443,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
病因物質を体内から除去する新たな戦略：メタボリックスイッチング	山 岡 哲 二	生体工学部	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血漿microRNAは循環器疾患マーカーとして有用か？	廣 川 剛	疫学部	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
呼気水素による新規酸化ストレス指標の創出	下 内 章 人	病因部	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨格筋芽細胞シート移植術併用による単心室症の2心室修復術の開発	市川 肇	医局(心臓血管外科)	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員受入補助金 受入研究者: 下内 章人(室長)	野瀬 和利	病因部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員受入補助金 受入研究者: 宮田 敏行(部長)	樋口(江浦) 由佳	病因部	800,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員受入補助金 受入研究者: 杉町 勝(部長)	水野 正樹	循環動態機能部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員受入補助金 受入研究者: 宮田 敏行(部長)	松田 泰幸	病因部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員受入補助金 受入研究者: 杉町 勝(部長)	朝原(平林) 智子	循環動態機能部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
NCX分子複合体の生体膜ミクロドメイン集積機構の解析	荒井 勇二	バイオサイエンス部	300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
重症心不全患者の心機能回復を目指した補助人工心臓による心臓リハビリテーション	巽 英介	人工臓器部	4,550,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経をバイオスキャフォールドとする新しいハイブリッド型人工神経の開発	馬原 淳	生体工学部	260,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社会復帰を目指した新たな治療法の導入	中谷 武嗣	臓器移植部	325,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
先端医学・生命科学の基礎・臨床研究における倫理ガバナンスの構築のための調査研究	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	260,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
心室細動の発現メカニズムの解明: 新しい心臓突然死予知法確立に向けて	中沢 一雄	研究機器管理室	650,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
卵膜由来間葉系幹細胞移植による再生医療の基礎的検討	山原 研一	再生医療部	520,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	荻野 均	外来部	14,100,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	山田 直明	放射線部	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
成人に達した先天性心疾患の診療体制の確立に向けた総合的研究	白石 公	小児循環器診療部	9,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
成人に達した先天性心疾患の診療体制の確立に向けた総合的研究	池田 智明	周産期治療部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
成人に達した先天性心疾患の診療体制の確立に向けた総合的研究	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
成人に達した先天性心疾患の診療体制の確立に向けた総合的研究	八木原 俊克	副院長	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性心筋梗塞症と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	野々木 宏	心臓血管内科部	29,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞症と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	豊田 一則	医局(脳血管内科)	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	21,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討、ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	飯原 弘二	特殊病棟部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトiPS細胞由来血管内皮細胞の分化誘導技術を用いた高度肺血管性肺高血圧症の病態生理解析と創薬に関する先端研究	山原 研一	再生医療部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトiPS細胞由来血管内皮細胞の分化誘導技術を用いた高度肺血管性肺高血圧症の病態生理解析と創薬に関する先端研究	中西 宣文	生理機能検査部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	横山 広行	心臓血管内科部	2,700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
中性脂肪蓄積心筋血管症の発見-その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	内藤 博昭	放射線診療部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
中性脂肪蓄積心筋血管症の発見-その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	宮田 敏行	病因部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
中性脂肪蓄積心筋血管症の発見-その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	植田 初江	臨床検査部	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	武田 壮一	心臓生理部	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	望月 直樹	循環器形態部	12,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	若林 繁夫	循環分子生理部	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
未受診者対策を含めた健診・保健指導を用いた循環器疾患予防のための地域保健クリティカルパスの開発と実践に関する研究	岡村 智教	予防検診部	8,450,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立に関する研究	河野 雄平	第一病棟部	15,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒスタミンと心不全の関連についての検討-H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか	北風 政史	臨床研究開発部	8,250,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性のエビデンスの確立と普及方策の検討に関する多施設研究	後藤 葉一	生理機能検査部	9,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	小林 順二郎	第二病棟部	8,250,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
動脈硬化性疾患の発症予知・進展予防に関する研究	沢村 達也	脈管生理部	14,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	豊田 一則	医局(脳血管内科)	12,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	内藤 博昭	放射線診療部	17,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に果たす役割に関する前向き研究	吉政 康直	外来部	21,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	岡村 智教	予防検診部	2,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究	岡村 智教	予防検診部	2,400,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国の生活習慣病における一次予防のための運動基準策定を目的とした大規模介入研究	北風 政史	臨床研究開発部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
「多目的コホート(JPHCコホート)」における糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と実態分析に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	800,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
保健指導を中心とした地域における脳卒中及び心筋梗塞の再発予防システムとエビデンス構築に関する研究	長束 一行	病院長	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
高磁場MRIと核医学・分子イメージングに基づく動脈硬化の高感度かつ定量的な診断と新しい予防戦略の構築	飯田 秀博	放射線医学部	53,986,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
頸動脈洞神経マイクロマシによって圧反射性に自律神経を自動制御し、心不全を抑制する医療の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	55,236,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
分散型ナノ植え込み機器を活用した慢性心不全患者の統合的デバイス治療の開発	杉町 勝	循環動態機能部	31,942,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
循環器病治療機器の医工連携による研究開発・製品化・汎用化を実現するための基盤整備に関する研究	妙中 義之	副所長	49,111,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
皮膚貫通型医療機器およびストーマを有する患者のQOL向上を目的としたスキンボタンスシステムの開発・実用化研究	巽 英介	人工臓器部	4,550,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞移植医療における細胞のin vivoイメージングへ向けた新規細胞ラベル化用MRI造影剤の開発	山岡 哲二	生体工学部	6,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
半導体などナノ粒子による薬剤・細胞伝達システムの開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	8,190,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	杉町 勝	循環動態機能部	7,800,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
特発性心筋症に関する調査研究	北風 政史	臨床研究開発部	7,150,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	橋本 信夫	総長	5,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
原発性高脂血症に関する調査研究	斯波 真理子	バイオサイエンス部	1,170,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
内臓錯位症候群の疫学と治療実態に関する研究	白石 公	小児循環器診療部	1,040,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	京谷 晋吾	生理機能検査部	1,690,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	中西 宣文	生理機能検査部	910,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
血液凝固異常症に関する調査研究	宮田 敏行	病因部	1,690,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模発現解析より得られた新規酵素心臓特異的ミオシン軽鎖キナーゼ(cardiacMLCK)を利用した心不全治療薬・診断マーカーの開発	北風 政史	臨床研究開発部	1,170,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
機能性siRNA経口投与による家族性高コレステロール血症に対する新しい治療薬の開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	780,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞由来心筋細胞の表面マーカー探索および大量培養・純化システムの構築	日高 京子	バイオサイエンス部	1,560,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
血管病モデルマウスと血管新生可視化マウスの資源化	望月 直樹	循環器形態部	1,820,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
生物資源研究事業の企画及び生物資源の所在情報等に関するデータベースの構築に関する研究	岡村 智教	予防検診部	1,430,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	寒川 賢治	所長	1,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
SPECT検査の精度向上と施設間誤差のない標準的画像診断法の確立	飯田 秀博	放射線医学部	1,170,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
革新的医療機器・医療技術創生にかかる国際的臨床研究支援のための基盤整備研究	山本 晴子	臨床研究部	102,089,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	池田 智明	周産期治療部	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脳梗塞急性期におけるミノサイクリンの脳保護作用についての臨床研究に対するプロトコール作成研究	宮下 光太郎	脳神経内科部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	寒川 賢治	研究所長	2,900,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査	岡村 智教	予防検診部	250,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
医療機器の臨床試験の実施の基準(医療機器GCP)のあり方に関する研究	妙中 義之	副所長	6,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立-手術中の大量出血をいかにして防ぐか-	荻野 均	外来部	700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究	池田 智明	周産期治療部	15,250,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脱細胞化生体組織による再生医療技術の臨床応用	山岡 哲二	生体工学部	7,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
自殺のハイリスク者の実態解明及び自殺予防に関する研究	横山 広行	心臓血管内科部	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
冠・脳血管攣縮の抑制薬としてのS1P3受容体拮抗薬の開発	望月 直樹	循環器形態部	0	補委 厚生労働省科学研究費補助金
冠・脳血管攣縮の抑制薬としてのS1P3受容体拮抗薬の開発	福原 茂朋	循環器形態部	3,499,400	補委 厚生労働省科学研究費補助金
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	吉政 康直	外来部	600,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立-手術中の大量出血をいかにして防ぐか-	宮田 茂樹	臨床検査部	700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
患者由来細胞のiPS細胞化による心筋症の新しい診断法開発を目指した生体試料の収集	北風 政史	臨床研究開発部	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
進行性心臓伝導障害の病態診断と遺伝子基盤に関する研究	鎌倉 史郎	不整脈部	7,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
進行性心臓伝導障害の病態診断と遺伝子基盤に関する研究	清水 渉	不整脈部	2,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国初の周産期心筋症の全国後方視的・前方視的症例調査に関する研究	神谷 千津子	周産期治療部	26,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ロイス・ディーツ症候群の診断基準作成に向けた臨床所見の収集と治療成績の検討	森崎 裕子	ハイサイエンス部	13,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
低身長症におけるCNP有効症例の把握と診断法の確立	寒川 賢治	研究所長	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
心不全における可溶性中間体(アミロイドオリゴマー)を標的とする新規治療法の開発	白石 公	小児循環器診療部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
原発性高脂血症患者の生体試料収集に関する研究	斯波 真理子	ハイサイエンス部	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	宮田 茂樹	臨床検査部	230,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	宮本 恵宏	臨床研究センター	230,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脳保護薬のDDS評価を可能にする超高解像度SPECT技術の開発	飯田 秀博	放射線医学部	65,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
バイオニック血圧制御システムの実用化開発	杉町 勝	循環動態機能部	10,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低侵襲的低周波超音波脳血栓溶解法の効果増高に関する臨床応用基盤研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	15,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進する教育プログラムの開発研究—アカデミアにおけるスポンサー	寒川 賢治	研究所長	4,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性循環器疾患の重症度評価及び治療成績評価システムの開発と効果的運用に関する研究	横山 広行	緊急治療科 医長	32,140,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
急性期脳卒中の重症度・治療成績評価	豊田 一則	第二リハビリテーション科 医長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
くも膜下出血における臨床指標の確立	飯原 弘二	脳神経外科 医長	600,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中症例の発症登録システムの構築	長束 一行	脳卒中集中治療科 医長	600,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
院内発症登録におけるデータの標準化と多施設データの電子的収集方式の確立に関する研究	花井 荘太郎	運営局高度情報専門官	300,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
急性心筋梗塞の発症登録体制の整備とこのデータベースを用いた病型別合併症別の予後決定因子の検討	大塚 頼隆	内科系心臓集中治療科 医長	600,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
長期耐久性を有する小児補助循環システムの臨床導入前最終基礎研究	八木原 俊克	副院長	15,200,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
抗血栓性に優れ長期耐久性を有する次世代型小児用PCPSシステムの開発	巽 英介	人工臓器部長	12,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
19公—2研究統括	宮本 享	特殊病棟部長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
SPECT定量化システムの精度評価と標準化	飯田 秀博	研究所 放射線医学部長	18,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
細小血管障害例における血管反応性と認知機能、再発との関連	横田 千晶	脳血管部門 医長	1,700,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
血行力学的脳虚血における脳血流量の定量的評価法の標準化に関する研究	宮本 享	特殊病棟部長	6,400,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
血行力学的脳虚血におけるバイパス術の意義	飯原 弘二	脳神経外科 医長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
モバイル・テレメディシンによるユビキタス・メディカルネットワークシステムの開発に関する研究	野々木 宏	緊急部長	5,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
不整脈診断における伝送型・連携型心電計の有用性に関する研究	鎌倉 史郎	臨床検査部長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
モバイル・テレメディシンシステムを用いた病診連携の構築について	横山 広行	緊急治療科 医長	500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
周術期経食道心エコー及び肺動脈カテテルの疾患別適応ガイドライン作成	大西 佳彦	手術部長	6,300,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生理活性ペプチドによる新規組織保護再生作用の探索	永谷 憲歳	再生医療部 客員研究員	1,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリックシンドロームとその合併症における生理活性ペプチドの意義解明	吉政 康直	外来部長	4,800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
新規内因性ペプチドによる組織保護再生機序の解明と治療応用に関する基礎的研究	宮里 幹也	生化学部長	1,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
高血圧管理における外来および家庭血圧と生活習慣病の目標達成に関する研究	河野 雄平	第一病棟部長	4,360,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
都市部一般住民を対象とした血圧管理ガイドライン遵守と目標達成度に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部 予防検診室 医長	1,300,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
原発性肺高血圧症における肺血管リモデリングの病理学的検討	植田 初江	病理検査室 医長	5,580,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
肺動脈性肺高血圧症の疫学と治療法選択に関する諸問題の検討	中西 宣文	第5生理機能検査室 医長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
原発性肺高血圧症の病因・病態修飾遺伝子の解析	森崎 裕子	バイオサイエンス部 室長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
細胞増殖抑制による新たな肺高血圧治療法の開発	山原 研一	研究所 移植免疫研究室 室長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
周期性呼吸を通じた慢性心不全の病態解明とその是正の検討	杉町 勝	循環動態機能部 部長	2,180,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
慢性心不全の呼吸異常の成因解明と治療効果に関する研究	後藤 葉一	生理機能検査部長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
慢性心不全に合併する睡眠時無呼吸症候群の重症度評価	佐田 誠	細菌免疫検査室 医長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
慢性心不全の急性増悪における呼吸異常に関する研究	横山 広行	緊急治療科 医長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	宮本 享	特殊病棟部長	4,440,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部 部長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
重症脳卒中における終末期医療の現状調査	飯原 弘二	脳神経外科 医長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
無症候性頸動脈狭窄診断の標準化と内科治療	峰松 一夫	リハビリテーション部 部長	1,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
カテーテルインターベンションの術者教育用動物モデルの開発に関する研究	佐藤 徹	脳血管外科 医師	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
血小板活性化のシグナローム解析による病的血栓形成機構に関する研究	宮田 敏行	病因部 部長	5,400,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
血管内皮細胞間接着のシグナロームによる血管新生・安定化機構の研究	望月 直樹	循環器形態部 部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
LOX-1分子を中心とした血液-血球-血管壁シグナロームの解明	沢村 達也	脈管生理部 部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心機能不全におけるイオンシグナロームの役割と病態的意義の解明	若林 繁夫	循環分子生理部 部長	3,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心疾患病態解明にむけた心臓の発生分化再構築に関わるシグナローム解析	森崎 隆幸	バイオサイエンス部 部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環調節ペプチドによる細胞間情報伝達シグナロームの解明	南野 直人	薬理部 部長	3,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環調節ペプチドによる新たな細胞間・細胞内情報伝達と制御機構の解明	宮里 幹也	生化学部 部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心不全発症・進展のメカニズムの解明	北風 政史	臨床研究開発部 部長	1,200,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心サルコイドーシスの病態と治療に関する研究	鎌倉 史郎	臨床検査部長	6,030,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心サルコイドーシスの病態と治療に関する研究	岡村 英夫	心臓血管内科 医員	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
PET/SPECTによる心サルコイドーシスの病態診断に関する研究	石田 良雄	R・I診断治療科 医長	1,100,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心筋疾患としての心サルコイドーシスの病理学的検討	植田 初江	病理検査室 医長	900,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
地域職域における非肥満リスク集積と循環器疾患の関連およびその改善を目的とした健康指導技法の開発	岡村 智教	予防検診部長	11,420,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
高リスク高血圧患者における生活習慣修正	河野 雄平	第一病棟部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
糖尿病・脂質異常症患者の有効な非薬物療法の検討	吉政 康直	外来部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器疾患の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	後藤 葉一	生理機能検査部長	8,400,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中地域連携パスと評価システムの作成	長束 一行	脳卒中集中治療科 医長	1,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	上原 敏志	内科脳血管部門 医師	1,300,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器疾患登録データベースの開発に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部 予防検診室 医長	16,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
多因子病としての小児循環器病の予防に向けた遺伝環境要因の解明研究-遺伝子情報と臨床情報の統合-	白石 公	小児循環器診療部・部長	2,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多因子病としての小児循環器病の予防に向けた遺伝環境要因の解明研究-遺伝子情報の解析-	森崎 裕子	バイオサイエンス部・室長	2,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
周産期医療からみた多因子病としての小児循環器病の予防に向けた遺伝環境要因の解明研究	桂木 真司	周産期診療部・医長	500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜MSCの細胞バンク化に関する研究	池田 智明	周産期治療部・部長	12,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜由来MSCの心臓血管外科的応用の研究	北村 惣一郎	客員研究員	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
小児循環器疾患における卵膜MSCの応用に関する研究	白石 公	小児科・部長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜由来MSCの分泌成分の生化学的検討	南野 直人	薬理部・部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
近交系ミニブタ心筋梗塞モデルへの卵膜由来MSCの応用と画像解析	飯田 秀博	放射線医学部・部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜由来MSCの有効な応用に関する生体材料の研究	山岡 哲二	生体工学部・部長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜由来MSCおよび臍帯血由来EPCの脳虚血に対する応用	田口 明彦	循環動態機能部・室長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
卵膜由来MSCの品質管理に関する研究	山原 研一	再生医療部・室長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中診療の均てん化のためのシステム構築研究	峰松 一夫	リハビリテーション部・部長	20,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中一次予防のための前方連携パスとPSLSの効果検証システムの作成	長束 一行	内科脳血管部門 医長	2,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中における地域集団啓発手法の体系化とシステム構築に関する研究	渡邊 至	予防検診部 医師	2,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
統一的な手法による循環器病診療業務・システムの体系的調査・記述と改善の提言に関する研究	高田 彰	外来部専門医療連携室 医長	24,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器疾患の理解に有効な情報コンテンツ作成とASP事業モデルに関する研究	中沢 一雄	研究機器管理室 室長	4,800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
マッシュアップとユーザ行動解析に基づく循環器病画像Webサービスプラットフォーム構築の研究	鍵崎 康治	第四循環器外科 医長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
小児先天性心疾患外科手術のための3次元CGモデル開発と評価	原口 亮	研究機器管理室 室員	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
電子カルテ応用をめざしたSVG形式によるシェーマシステムの開発と評価	黒崎 健一	小児循環器診療部 医長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
補助人工心臓を用いた治療法理解のためのツール開発	築谷 朋典	人工臓器部 室長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費

小計
19

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
循環器疾患におけるインフォームドコンセントに関する研究	西本 京子	看護部 副看護部長	800,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
間葉系幹細胞の分離と分化制御	山岡 哲二	生体工学部 部長	25,400,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
多能性幹細胞による閉塞性動脈硬化症治療法の開発	田口 明彦	循環動態機能部 室長	5,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
多能性幹細胞からの心筋および心血管系細胞の誘導	日高 京子	バイオサイエンス部 室長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
ヒト卵膜由来の間葉系幹細胞を用いたiPS細胞作製	上田 恵子	周産期治療科 医師	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
心筋梗塞モデルへの分化心筋の移植	湊谷 謙司	心臓血管外科 医長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
内皮細胞播種型小口径再生型血管の評価	飯原 弘二	脳血管外科 医長	2,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
不整脈に対する臨床病態の解明に関する研究	清水 渉	心臓血管内科 医長	15,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
周産期医療におけるQT延長症候群に関する研究	池田 智明	周産期治療部・部長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
遺伝性不整脈の遺伝子診断法の確立	宮本 恵宏	臨床研究センター 医長	1,500,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
無症状小児QT延長児に対するエピネフリン付加による先天性QT延長症候群遺伝子型の診断とその有用性	宮崎 文	小児循環器診療部 医員	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈疾患の遺伝子変異解析と発現解析による病態解明とその応用	森崎 隆幸	バイオサイエンス部 部長	5,400,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈疾患の病態解明と新規外科的治療の開発	荻野 均	心臓血管外科 医長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈瘤破裂および大動脈解離の発症予測に関する研究	塘 義明	心臓血管内科 医長	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
大動脈解離と中膜嚢状壊死における組織学的グレード分類に関する臨床病理学的解析	池田 善彦	臨床検査部 病理検査室 医師	1,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳血管障害に対する抗血栓療法最適化と中断時の再発リスクの検討	長東 一行	内科脳血管部門 医長	25,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
アテローム血栓症に対するチエノピリジン系薬剤による抗血小板療法のテーラーメイド医療実施に向けた研究	大塚 頼隆	内科系集中治療科・医長	3,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器診療における総合的トレーニングシステム構築に関する研究	八木原 俊克	副院長	12,440,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費
生体内ペプチドを用いた循環器疾患治療の研究基盤の構築	南野 直人	薬理部 部長	11,000,000	補委 厚生労働省循環器病研究委託費

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
循環器調節ペプチドの探索と機能解明に基づく創薬研究基盤の構築	宮里 幹也	生化学部 部長	10,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
タンパク質を標的とする循環器疾患治療の研究基盤の構築	沢村 達也	脈管生理部 部長	10,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
細胞過増殖を起こすチロシン脱リン酸化酵素SHP2の阻害薬の開発	望月 直樹	循環器形態部 部長	10,600,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
心筋の新しいCa ²⁺ センサー蛋白質に関する創薬基盤的研究	若林 繁夫	循環分子生理部 部長	10,700,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
心・肺血管機能障害の分子機構解明と治療法開発	白井 幹康	心臓生理部 部長	10,700,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
ゲノム解析・機能解析に基づく心血管疾患の病態解明とその応用	森崎 隆幸	小児循環器診療部	12,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
ゲノムワイドスクリーニングに基づく高血圧症の素因遺伝子の同定	宮田 敏行	周産期治療部	10,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
ゲノム解析に基づく血栓症の創薬基盤構築に関する研究	岩井 直温	ハイサイエンス部	10,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
人工臓器開発のための基盤整備と応用に関する研究	巽 英介	副院長	11,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器医療機器開発に資する時系列生体信号処理ソフトウェア基盤技術に関する研究	杉町 勝	心臓血管内科部	10,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
高精度循環器疾患画像診断技術の定量化と標準化に関する研究	飯田 秀博	医局(脳血管内科)	10,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
循環器疾患のトランスレーショナル研究推進システムの構築	妙中 義之	リハビリテーション部	10,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
人工臓器研究開発におけるトランスレーショナルリサーチの推進	武輪 能明	特殊病棟部	5,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
トランスレーショナル研究の臨床応用に関するシステム構築	宮本 恵宏	再生医療部	7,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
抗原提示能をもった免疫細胞による組織再生誘導法の開発	宮地 幸久	生理機能検査部	5,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
実験動物の安定供給を目指して	塩谷 恭子	リハビリテーション部	5,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	2,700,000	補 委 がん研究助成金
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	岩田 裕子	循環分子生理部	2,200,000	補 委 精神・神経研究委託費
長寿医療研究のための実験動物(哺乳類)における有効性と外挿可能範囲に係る研究	塩谷 恭子	動物実験管理室	3,000,000	補 委 長寿医療研究委託費

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Infect Chemother	Comparative analysis of <i>Micrococcus luteus</i> isolates from blood cultures of patients with pulmonary hypertension receiving epoprostenol continuous infusion.	友池 仁暢	病院長
Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology	Long-term prognosis of probands with brugada-pattern ST-elevation in leads V1-V3.	友池 仁暢	病院長
Heart	Pathological role of angiostatin in heart failure: an endogenous inhibitor of mesenchymal stem-cell activation.	友池 仁暢	病院長
Circ J	Identification of genetic markers associated with high-density lipoprotein-cholesterol by genome-wide screening in a Japanese population. - the Suita	友池 仁暢	病院長
J Hum Genet.	HLA-DPB1 and NFKB1L 1 may confer the susceptibility to chronic thromboembolic pulmonary hypertension in the absence of deep vein thrombosis.	友池 仁暢	病院長
Blood coagul and fibrinolysis	Association of Asn221 Ser mutation in tissue factor pathway inhibitor- β with plasma total tissue factor pathway inhibitor level.	友池 仁暢	病院長
Obesity Research & Clinical Practice	Resistin gene variations are associated with the metabolic syndrome in Japanese men.	友池 仁暢	病院長
Int J Biol Sci.	Vesnarinone represses the fibrotic changes in murine lung injury induced by bleomycin.	友池 仁暢	病院長
J Am Coll Cardiol.	Natriuretic peptides enhance the production of adiponectin in human adipocytes and in patients with chronic heart failure.	友池 仁暢	病院長
Diabetes Res Clin Pract.	Association study of 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase type 1 gene polymorphisms and metabolic syndrome in urban Japanese cohort.	友池 仁暢	病院長
Circulation vol. 73, 5	Coexistent True Aortic Aneurysm as a Cause of Acute Aortic Dissection.	野々木 宏	心臓血管内科
Am J Cardiol, 103	Characteristics in Phenotypic Manifestations of Genetically Proved Marfan Syndrome in a Japanese Population.	野々木 宏	心臓血管内科
Angiology vol. 59, No. 6	Simultaneous Presentations of Deep Vein Thrombosis and Cerebral Sinus Thrombosis in a Case of Primary Antiphospholipid Syndrome.	野々木 宏	心臓血管内科
Japanese Journal of Telemedicine and Telecare Vol. 5 (2)	Usefulness of Mobile Telemedicine System in Real-Time Transmission of Out-of-Hospital 12-Lead ECGs and Live-Images of Patients on Moving Ambulances.	野々木 宏	心臓血管内科
Internal Medicine 49:83-84	Echocardiographic Diagnosis of Aortic Intramural Hematoma via the Posterior Paraspinal Window.	野々木 宏	心臓血管内科
Kidney and Blood Pressure Research	Renal artery stenosis and renal parenchymal change in patients with abdominal aortic aneurysm proven by autopsy	河野 雄平	高血圧・腎臓科
Circulation Journal	Genetic polymorphisms of L-type calcium channel $\alpha 1C$ and $\alpha 1D$ subunit genes are associated with sensitivity to the antihypertensive effect of L-type	河野 雄平	高血圧・腎臓科
Journal of Hypertension	Comparison between carotid-femoral and brachial-ankle pulse wave velocity as measures of arterial stiffness	河野 雄平	高血圧・腎臓科

小計
18

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology	Impaired recovery of blood flow following hind-limb ischemia in mice lacking guanylyl cyclase-A, a receptor for atrial and brain natriuretic peptides	河野 雄平	高血圧・腎臓科
Hypertension Research	Association of PLA2G7 polymorphisms with carotid atherosclerosis in hypertensive Japanese	河野 雄平	高血圧・腎臓科
Kidney and Blood Pressure Research	Renal artery stenosis and renal parenchymal change in patients with abdominal aortic aneurysm proven by autopsy	中村 敏子	高血圧・腎臓科
Circulation Journal 2009; 73: 1119-1126	Identification of Genetic Markers Associated With High-Density Lipoprotein-Cholesterol by Genome-Wide Screening in a Japanese Population - The Suita Study	後藤 洋一	心臓血管内科
J Echocardiogr 2009; 7: 34-36	Inverted Takotsubo cardiomyopathy masking acute myocardial infarction.	後藤 洋一	心臓血管内科
心臓リハビリテーション (JJCR) 2009; 14: 269-275	わが国における心臓リハビリテーションの採算性: 多施設調査結果	後藤 洋一	心臓血管内科
心臓リハビリテーション (JJCR) 2009; 14: 336-344	急性心筋梗塞全国実態調査に基づく心臓リハビリテーション1セッションあたり参加患者数の検討: 施設基準および採算性を念頭に	後藤 洋一	心臓血管内科
心臓 2009; 41: 1205-1215	心臓リハビリテーションを組み込んだ急性心筋梗塞地域連携パスの試み: 全国実態調査結果を踏まえた将来展望	後藤 洋一	心臓血管内科
Biochem. Biophys. Res. Commun.	Identification of genes related to heart failure using global gene expression profiling of human failing myocardium	北風 政史	心臓血管内科
Hypertension	Left atrial volume combined with atrial pump function identifies hypertensive patients with a history of paroxysmal atrial fibrillation	北風 政史	心臓血管内科
International Journal of Gerontology	Prothrombin complex concentrate for rapid reversal of warfarin-induced anticoagulation in patients with intracerebral hemorrhages supported by left	北風 政史	心臓血管内科
Nature Cell Biology	AMPK controls the speed of microtubule polymerization and directional cell migration via CLIP-170 phosphorylation.	北風 政史	心臓血管内科
J. Mol. Cell. Cardiol.	PKA rapidly enhances proteasome assembly and activity in in vivo canine hearts.	北風 政史	心臓血管内科
J. Am. Coll. Cardiol.	Prolonged targeting of ischemic/reperfused myocardium by liposomal adenosine augments cardioprotection in rats.	高濱 博幸	心臓血管内科
J. Am. Coll. Cardiol. (Cardiovasc Imaging)	Heterogeneous onset of myocardial relaxation in subendocardial and subepicardial layers assessed with tissue strain imaging: comparison of normal and	長谷川 拓也	心臓血管内科
Hypertension Res	Usefulness of 3-dimensional echocardiography in assessing right ventricular function in patients with primary pulmonary hypertension. Right ventricular	天木 誠	心臓血管内科
J. Am. Coll. Cardiol.	Natriuretic peptides enhance the production of adiponectin in human adipocytes and in patients with chronic heart failure.	北風 政史	心臓血管内科
Biochem. Biophys. Res. Commun.	Extracellular protein kinase CK2 is a novel associating protein of neuropilin-1.	北風 政史	心臓血管内科
BMC Nephrol	Risk factors for chronic kidney disease in Japan: a community-based study.	北風 政史	心臓血管内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J	QRS prolongation is associated with high defibrillation thresholds during cardioverter-defibrillator implantations in patients with	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Int Heart J	Destructive device removal - sparks and deletion of therapy history from an implantable cardioverter defibrillator	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Europace	Mitral isthmus pathology of re-entrant ventricular tachycardia in a patient with idiopathic dilated cardiomyopathy.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Europace	The positional relationship between the coronary sinus musculature and the atrioventricular septal junction.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Heart Rhythm	Arrhythmias originating from the right ventricular outflow tract: how to distinguish "malignant" from "benign"?	清水 渉	心臓血管内科
Heart Rhythm	Diagnostic value of bipolar precordial leads in Brugada syndrome: more accurate, more simple, or more theoretical?	清水 渉	心臓血管内科
Stroke	Relationship Between Blood Pressure Category and Incidence of Stroke and Myocardial Infarction in an Urban Japanese Population With and Without Chronic Kidney Disease. The Suita Study.	岡村 智教	予防検診部
Int J Epidemiol	Elevated serum creatine kinase predicts first-ever myocardial infarction: a 12-year population-based cohort study in Japan, the Suita study.	岡村 智教	予防検診部
Atherosclerosis	Triglycerides and Non-high-density Lipoprotein Cholesterol and the Incidence of Cardiovascular Disease in an Urban Japanese Cohort: the Suita study.	岡村 智教	予防検診部
Stroke	The Relationship between Waist Circumference and the Risk of Stroke and Myocardial Infarction in a Japanese Urban Cohort: The Suita Study.	岡村 智教	予防検診部
Circ J	Risk of Smoking and Metabolic Syndrome for Incidence of Cardiovascular Disease. Comparison of Relative Contribution in Urban Japanese Population: The Suita Study.	岡村 智教	予防検診部
Atherosclerosis. 2009 Apr;203 (2) :587-92.	Low-density lipoprotein cholesterol and non-high-density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort study: The Suita study.	岡村 智教	予防検診部
Circ J. 2009 May;73 (5) :878-84.	Metabolic syndrome and all-cause and cardiovascular disease mortality: Japan Public Health Center-based Prospective (JPHC) Study.	小久保 喜弘	予防検診部
Br J Nutr. 2009 Jun;101 (11) :1696-705.	A Japanese diet and 19-year mortality: national integrated project for prospective observation of non-communicable diseases and its trends in the aged, 1980.	岡村 智教	予防検診部
Circ J. 2009 Jun;73 (6) :1119-26.	Identification of genetic markers associated with high-density lipoprotein-cholesterol by genome-wide screening in a Japanese population: the Suita study.	小久保 喜弘	予防検診部
Am J Clin Nutr. 2009 Jul;90 (1) :49-55.	Association of serum n-6 and n-3 polyunsaturated fatty acids with lipids in 3 populations of middle-aged men.	岡村 智教	予防検診部
J Hum Hypertens. 2009 Aug;23 (8) :546-52.	High blood pressure in middle age is associated with a future decline in activities of daily living. NIPPON DATA80.	岡村 智教	予防検診部
Stroke. 2009 Aug;40 (8) :2674-9.	Relationship between blood pressure category and incidence of stroke and myocardial infarction in an urban Japanese population with and without chronic kidney disease: the Suita Study.	小久保 喜弘	予防検診部
Hypertens Res. 2009 May;32 (5) :399-403.	The Taste of Salt Measured by Simple Test and Blood Pressure in Japanese Women and Men.	岡村 智教	予防検診部

小計

19

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
BMC Geriatr. 2009;9:50.	Gender-specific associations of vision and hearing impairments with adverse health outcomes in older Japanese: a population-based cohort study.	岡村 智教	予防検診部
Diabetes Res Clin Pract. 2009 Aug;85 (2) :132-8.	Association study of 11beta-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 gene polymorphisms and metabolic syndrome in urban Japanese cohort.	小久保 喜弘	予防検診部
Atherosclerosis. 2009 Nov;207 (1) :272-6.	Prognostic value of plasma high-sensitivity C-reactive protein levels in Japanese patients with stable coronary artery disease: the Japan NCVC-Collaborative Inflammation Cohort (INICC) Study.	小久保 喜弘	予防検診部
Gerontology. 2009;55 (6) :707-13.	Dietary habits in middle age and future changes in activities of daily living - NIPPON DATA80.	岡村 智教	予防検診部
Int J Cardiol. 2009 Aug 21;136 (3) :354-5.	Association between polymorphism of the AGTR1 and cardiovascular events in a Japanese general sample (The Shigaraki Study).	岡村 智教	予防検診部
Am J Cardiol. 2009 Sep 15;104 (6) :818-22.	Cholesteryl ester transfer protein, coronary calcium, and intima-media thickness of the carotid artery in middle-age Japanese men.	岡村 智教	予防検診部
Int J Epidemiol. 2009 Dec;38 (6) :1571-9.	Elevated serum creatine kinase predicts first-ever myocardial infarction: a 12-year population-based cohort study in Japan, the Suita study.	渡邊 至	予防検診部
Alcohol. 2009 Dec;43 (8) :635-41.	Alcohol intake and 19-year mortality in diabetic men: NIPPON DATA80.	岡村 智教	予防検診部
Hypertension. 2009 Dec;54 (6) :1416-22.	Relation of serum leptin to blood pressure of Japanese in Japan and Japanese-Americans in Hawaii.	岡村 智教	予防検診部
J Atheroscler Thromb. 2010 Feb 26;17 (2) :131-40.	A novel Thr56Met mutation of the autosomal recessive hypercholesterolemia gene associated with hypercholesterolemia.	小久保 喜弘	予防検診部
J Atheroscler Thromb. Mar 31;17 (3) :312-4.	Low blood cholesterol and intraparenchymal hemorrhage in cohort studies.	岡村 智教	予防検診部
Circ J. 2010;74 (3) :518-22	Association of the functional variant in the 3-hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme a reductase gene with low-density lipoprotein-cholesterol in Japanese.	小久保 喜弘	予防検診部
CVD Prevention and Control (2010) 5, 27-34	γ -Glutamyltransferase and mortality risk from heart disease and stroke in Japanese men and women: NIPPON DATA90.	岡村 智教	予防検診部
J Atheroscler Thromb. 2010 Feb;17 (1) :64-72.	Relationship between 5-year decline in instrumental activity of daily living and accumulation of cardiovascular risk factors: NIPPON DATA90.	岡村 智教	予防検診部
Atherosclerosis 2010 Mar ;209 (1) : 290-4.	Triglycerides and non-high-density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort: the Suita study.	岡村 智教	予防検診部
J Thorac Cardiovasc Surg. 2009; 137 (5) : 1298-1299	Use of left axillary artery in descending or thoracoabdominal aortic repair (Reply to the Editor)	荻野 均	心臓血管外科
Gen Thoac Cardiovasc Surg 2010;58:220-222	Is hypothermia a reliable adjunct for spinal cord protection in descending and thoracoabdominal aortic repair with regional or systemic cooling	荻野 均	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2009;15 (1) :23-30.	Is prompt surgical treatment of an abdominal aortic aneurysm justified for someone in their eighties?	荻野 均	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg 2010;139 (3) :641-5.	Is conventional aortic arch surgery justified in octogenarians?	荻野 均	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳神経外科ジャーナル別冊 18 (12) p882-888 2009	心臓血管外科分野での血行再建のテクニック	荻野 均	心臓血管外科
Eur J Vasc Endovasc Surg 2010;39 (2) :179-86.	Spinal cord injury is not negligible after TEVAR for lower descending aorta	松田 均	心臓血管外科
胸部外科 62 (11) : 978-81, 2009	結合織異常と伴った大動脈弁輪拡張症に対する自己弁温存基部置換術の遠隔成績	田中 裕史	心臓血管外科
Journal of Vascular Surgery 2010;52 (2) :479	Entrapment of the popliteal artery.	田中 裕史	心臓血管外科
Stroke 40 (7) :2585-2588, 2009	Acute blood pressure levels and neurological deterioration in different subtypes of ischemic stroke.	豊田 一則	脳血管内科
Stroke 40 (11) :3591-3595, 2009	Routine use of intravenous low-dose rt-PA in Japanese patients: general outcomes and prognostic factors from the SAMURAI register.	豊田 一則	脳血管内科
Stroke 40 (1) :30-34, 2009	Impact of the Approval of Intravenous Recombinant Tissue Plasminogen Activator Therapy on the Processes of Acute Stroke Management in Japan: The Stroke Unit Multicenter Observational (SUMO) Study.	豊田 一則	脳血管内科
Cerebrovasc Dis 27 (2) :151-159, 2009	Antithrombotic therapy influences location, enlargement, and mortality from intracerebral hemorrhage: the Bleeding with Antithrombotic Therapy (BAT) Retrospective Study.	豊田 一則	脳血管内科
Drugs 69 (6) :633-647, 2009	Pharmacotherapy for the secondary prevention of stroke.	豊田 一則	脳血管内科
J Neurol Sci 2009;277:50-53	Albuminemia, but not metabolic syndrome, is a significant predictor of stroke recurrence in ischemic stroke.	横田 千晶	脳血管内科
Hypertens Res 2009;32:759-764	Nationwide survey of antihypertensive treatment for acute intracerebral hemorrhage in Japan.	古賀 政利	脳血管内科
Cerebrovasc Dis 27: 313-319, 2009.	Sex difference in the prevalence of deep-vein thrombosis in Japanese patients with acute intracerebral hemorrhage.	峰松 一夫	脳血管内科
Int J Stroke 4:3-5, 2009	Good laboratory practice: preventing introduction of bias at the bench.	峰松 一夫	脳血管内科
Cerebrovasc Dis, 28: 33-38, 2009.	Early hospital arrival improves outcome at discharge in ischemic but not hemorrhagic stroke: a prospective multicenter study.	峰松 一夫	脳血管内科
Int J Stroke. 4: 425-431, 2009.	Arterial occlusion sites on magnetic resonance angiography influence the efficacy of intravenous low-dose (0.6 mg/kg) alteplase therapy for ischemic	峰松 一夫	脳血管内科
J Neurol Sci, 287: 41-44, 2009.	Low levels of plasma soluble receptor for advanced glycation end products are associated with severe leukoencephalopathy in acute stroke patients.	峰松 一夫	脳血管内科
Biol Pharm Bull	Therapeutic time window of cannabidiol treatment on delayed ischemic damage via high-mobility group box1-inhibiting mechanism.	池田 智明	周産期・婦人科部
Am J Obstet Gyneco	Intrapartum fetal heart rate monitoring in cases of congenital heart disease.	池田 智明	周産期・婦人科部
Early Hum Dev	Intrapartum fetal heart rate patterns in infants (> or =34 weeks) with poor neurological outcome.	池田 智明	周産期・婦人科部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Blood Cancer	Neonatal onset hemophagocytic lymphohistiocytosis in a premature infant.	池田 智明	周産期・婦人科部
J Matern Fetal Neonatal Med	Severe variable deceleration is associated with intestinal perforation in infants born at 22-27 weeks' gestation.	池田 智明	周産期・婦人科部
Obstet Gynecol	The 2008 National Institute of Child Health and Human Development report on fetal heart rate monitoring.	池田 智明	周産期・婦人科部
Am J Obstet Gynecol	Intrapartum fetal heart rate monitoring in cases of congenital heart disease. Am J Obstet Gynecol.	上田 恵子	周産期・婦人科部
Pediatr Blood Cancer	Neonatal onset hemophagocytic lymphohistiocytosis in a premature infant.	桂木 真司	周産期・婦人科部
脳神経外科ジャーナル・日本脳神経外科コンgres	もやもや病における硬膜外麻酔下無痛分娩	池田 智明	周産期・婦人科部
日本産科婦人科学会雑誌	胎児機能不全—実例と解説—	池田 智明	周産期・婦人科部
産婦人科の実際・金原出版株式会社	産婦人科の実際・金原出版株式会社	池田 智明	周産期・婦人科部
臨床検査・医学書院	胎児心拍数モニターの意義—過去から現在までを振り返って	池田 智明	周産期・婦人科部
心臓・日本心臓財団	心臓病をもった女性の妊娠と分娩	池田 智明	周産期・婦人科部
妊産婦と赤ちゃんケア・日総研	胎児心拍数モニタリングで押さえておきたい基礎知識	池田 智明	周産期・婦人科部
麻酔 克誠堂出版	産科医と麻酔科医のさらなる連携のために：母体死亡研究班の成果と新しい胎児心拍数パターン評価法	池田 智明	周産期・婦人科部
臨床産科婦人科 医学書院	急性心不全	神谷 千津子	周産期・婦人科部
Journal of Neurosurgery	Slowly progressive neuronal death associated with postischemic hyperperfusion incortical laminar necrosis after high-flow bypass for a carotid intracavernous aneurysm.	飯原 弘二	脳血管外科
Stroke	Induced spreading depression evokes cell division of astrocytes in the subpial zone, generating neural precursor-like cells and new immature neurons in the adult cerebral cortex.	飯原 弘二	脳血管外科
Neurosurgery	Virtual histology—intravascular ultrasound in assessment of carotid plaques: ex viv-o study.	飯原 弘二	脳血管外科
Neurosurgery	Platelet-derived growth factor-induced severe and chronic vasoconstriction of cerebral arteries: proposed growth factorexplanation of cerebral vasospasm.	飯原 弘二	脳血管外科
脳神経外科速報	基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード 頸動脈内膜剥離術 (CEA)	飯原 弘二	脳血管外科
Soc Neuroscience	Repeated treatment with high voltage electric potential reduces body weight, influencing BDNF levels in the thalamostriatum and the hippocampus.	山本 晴子	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脈管学	【脈管疾患診断における非侵襲的画像診断 進歩と現状】 頸動脈のMRI (A)	飯原 弘二	脳神経外科
脳神経外科速報	基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード 頸動 脈内膜剥離術 (CEA)	飯原 弘二	脳神経外科
臨床と研究	【脳卒中診療の新しい展開】 治療 頸動脈内膜剥離術とバイパス術	飯原 弘二	脳神経外科
循環器病研究の進歩	脳血管障害に対するガンマナイフ治療	森 久恵	脳神経外科
Neurological Surgery	解剖を中心とした脳神経手術手技 後頭蓋窩巨大脳動脈瘤に 対する flow alteration treatment.	飯原 弘二	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	【頭蓋内動脈狭窄症】 脳循環とプラーク性状からみた頭蓋 内動脈狭窄症の病態 頭蓋内内頸動脈狭窄症における検討 から	飯原 弘二	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	内頸動脈前壁破裂動脈瘤に対する当院での治療戦略	飯原 弘二	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	【妊娠分娩と脳神経外科疾患】 もやもや病罹患女性の妊 娠・分娩に関する全国産科施設および患者女性へのアンケート 調査	飯原 弘二	脳神経外科
Medicina	【脳卒中の征圧をめざして】 明日の脳卒中 7つの課題と 展望 脳卒中診療と生命倫理 重症脳卒中急性期診療の倫理的 問題	森 久恵	脳神経外科
最新循環器診療マニュアル (中山書店)	脳血管奇形 海綿状血管腫	岡崎 貴仁	脳神経外科
EBM 神経疾患の治療 (中外医学社)	もやもや病の外科治療	大西 宏之	脳神経外科
J NeurosurgAnesthesiol 2010: 22 247-251	The efficacy of motor-evoked potentials on cerebral aneurysm surgery and new onset of postoperative neuro- deficient	吉谷 健司	麻酔科
臨床麻酔 34: 4: 2010 701-707	周術期における補助循環	大西 佳彦	麻酔科
Cerebrovasc Dis 27: 313-319, 2009.	Sex difference in the prevalence of deep-vein thrombosis in japanese patients with acute intracerebral hemorrhage.	長束 一行	脳神経内科
Circ J: 1801-1802, 2009.	Ear-lobe crease as a marker of carotid artery arthrosclerosis.	長束 一行	脳神経内科
日本医師会雑誌 138 (7) :1338, 2009.	特集 脳卒中医療連携の現状と問題点. 地域医療連携での脳 卒中ノートの活用.	長束 一行	脳神経内科
Vascular Lab 7:32-35, 2010.	特集 Technique 高血圧患者の頸動脈エコー検査	長束 一行	脳神経内科
Vascular Lab 7:132- 137, 2010.	特集 頸部血管超音波検査ガイドライン.	長束 一行	脳神経内科
脳卒中レジデントマニ ュアル: 267-275, 2010.	2. 社会的調整.	長束 一行	脳神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
頸動脈エコー法の臨床撮り方と読み方新興医学出版社, 42-44, 2010.	頸動脈病変の評価—プラークの分類・プラークスコア.	長束 一行	脳神経内科
日本医事新報4490: 65-68, 2010.	頸動脈エコーによる内膜中膜複合体肥厚度の測定.	長束 一行	脳神経内科
ICUとCCU 34: 355-359, 2010.	脳血管障害患者に対する細胞治療とその未来.	田口 明彦	脳神経内科
脳と循環 15: 150-152, 2010.	抗血栓薬の不应症 (レジスタンス).	長束 一行	脳神経内科
Clinical Neuroscience 27: 112-113, 2009.	脳血管障害に対する幹細胞治療法の開発.	田口 明彦	脳神経内科
J Cereb Blood Flow Metab 29: 34-38, 2009.	Circulating CD34-positive cells have prognostic value for neurologic function in patients with past cerebral infarction.	田口 明彦	脳神経内科
Jpn J Med Ultrasonics, 36: 185-190, 2009.	頸動脈プラークをみつけたら? : 重症度評価のポイント.	長束 一行	脳神経内科
Vascular Lab 増刊: 244-247, 2009.	脳血管障害	長束 一行	脳神経内科
経静脈治療オーダーマニュアル: 154-167, 2009.	脳卒中.	長束 一行	脳神経内科
心エコー 10: 764-771, 2009.	頸動脈エコーで冠動脈病変, 心血管イベントを推測できるか.	永野 恵子	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 27-34, 2009.	脳卒中の地域連携.	長束 一行	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 553-556, 2009.	一過性脳虚血発作.	宇野 久一	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 557-560, 2009.	脳血管障害 卒中後てんかん.	森脇 博	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 581-586, 2009.	脳血管障害 PET SPECT.	梶本 勝文	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 587-594, 2009.	脳血管障害 頸部エコー.	長束 一行	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 600-603, 2009.	脳血管障害 脳梗塞に対する再生医療.	田口 明彦	脳神経内科
最新循環器診療マニュアル: 609-614, 2009.	脳血管障害—合併症対策 褥瘡.	宮下 光太郎	脳神経内科
Geriat. Med. (老年医学) 47: 967-971, 2009.	1. 高齢期のパーキンソン病の類縁疾患. 2) 脳血管性パーキンソン症候群.	宮下 光太郎	脳神経内科
頸動脈ステント留置術, 株式会社診断と治療社, 38-43, 2009.	CASのための画像診断. 4. 超音波診断.	長束 一行	脳神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Nursing 25: 1209-1212, 2009.	地域医療連携の実際 大阪豊能地区.	長束 一行	脳神経内科
新・医療連携 第6号:6-8, 2009	アウトカム志向型地域連携クリティカルパスの検証. Part 2 事例1 脳卒中 国立循環器病センター. 多職種情報共有ツールで維持期の指標を重視.	長束 一行	脳神経内科
心血管CTパーフェクトガイド	CTによる心筋組織性状の評価 (124-126, 2010)	内藤 博昭	放射線部
心血管CTパーフェクトガイド	心臓の解剖・病理 (142-147, 2010)	内藤 博昭	放射線部
放射線画像医学	疾患ごとの検査法の選択とその画像情報 (191-205, 2009)	内藤 博昭	放射線部
Eur Radiol 19	Dual-energy direct bone removed CT angiography for evaluation of intra-cranial aneurysm or stenosis: comparison with conventional digital subtraction	内藤 博昭	放射線部
Eur Radiol 19	Dual-energy CT head bone and hard plaque removal for quantification of calcified carotid stenosis: utility and comparison with digital subtraction angiography	内藤 博昭	放射線部
Pacing and Clinical Electrophysiology	Congenitally Closed Tricuspid Annulus Functions as Arrhythmogenic Substrate of Atrial Arrhythmia in Patient with Tricuspid Atresia	坂口 平馬	小児循環器部
Eur J Cardiothorac Surg.	Simulative operation on congenital heart disease using rubber-like urethane stereolithographic biomodels based on 3D datasets of multislice computed	白石 公	小児循環器
Expert Rev. Cardiovasc. Ther.	Coronary artery bypass grafting for coronary artery stenosis caused by Kawasaki disease	津田 悦子	小児循環器
日本小児科学会雑誌	小児科心臓移植を申請した患者の予後の検討	津田 悦子	小児循環器
Pediatrics International	Acute myocardial infarction after Kawasaki disease in an infant: Treatment with coronary artery bypass grafting	津田 悦子	小児循環器
Int J Cardiol	Systemic ventricular morphology-associated increased QRS duration compromises the ventricular mechano-electrical and energetic properties long-term after	大内 秀雄	小児循環器
Am Hear J	High prevalence of abnormal glucose metabolism in young adult patients with complex congenital heart disease.	大内 秀雄	小児循環器
Annual Review 循環器	成人先天性心疾患患者の耐糖能	大内 秀雄	小児循環器
最新循環器診療マニュアル	Lecture: キャリーオーバー。	大内 秀雄	小児循環器
J Interv Cardiol.	Primary palliative stenting against obstructive mixed-type total anomalous pulmonary venous connection associated with right atrial isomerism.	北野 正尚	小児循環器
J Interv Cardiol.	The influence of morphological changes in amplatzer device on the atrial and aortic walls following transcatheter closure of atrial septal defects.	北野 正尚	小児循環器
Pediatr Cardiol	Corrected transposition of the great arteries involving situs inversus (I, D, D) and mild pulmonary stenosis: conduction system identified during	宮崎 文	小児循環器

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Circ J.	Pulmonary valve replacement in adult patients with a severely dilated right ventricle and refractory arrhythmias after repair of tetralogy of fallot.	宮崎 文	小児循環器

小計
1
計
171

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 内藤 博昭
管理担当者氏名	総務課長：廣畑 民夫 医事室長：中山 泰 情報管理室長：奥田 隆 薬剤部長：小原 延章

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		情報管理室 (病歴室)	病歴資料については、カルテ、X線フィルムともに入院、外来を含む1患者1ファイル方式とし、コンピュータにより集中管理している。特にカルテは膨大であり効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブカルテに区分して管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課		
	高度の医療の実績	医事室		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究医療課		
	高度の医療の研修の実績	研究医療課		
	閲覧実績	情報管理室		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事室		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事室		
	項規 第一 第一 号に 掲げ る十 一第 体制 第一 項各 号の 及び 第九 条の 二十 三第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全室	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全室		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全室		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全室		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事室		

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	企画経営部長（総務部長代行）：大月 武
閲覧担当者氏名	総務課長：廣畑 民夫 医事室長：中山 泰 情報管理室長：奥田 隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	91.1 %	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	5,579人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,042人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,725人	
	D: 初診の患者の数	9,088人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1章【1.趣旨 2.医療安全の基本的な考え方 3.医療安全に係る安全管理のための委員会・組織に対する基本的事項 4.医療安全に係る安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 5.センターにおける事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 6.医療事故発生時の対応に関する基本方針 7.医療従事者と患者との情報共有に関する基本方針 8.患者からの相談への対応に関する基本方針 9. その他の医療安全の確保のための基本方針】、第2章から構成。第2章は、用語の定義、第1章2～9の実務的内容を記す。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○医療安全管理指針の制定、改訂に関すること。○医療安全管理に関する職員への教育・研修に関すること。○医療安全確保を目的とした改善のための検討に関すること。○医療事故等重大な問題が発生した場合の対応に関すること。○医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに改善策の実施状況の調査及び評価、見直しに関すること。○医療安全管理に関する研究、広報、院外活動に関すること。○医療訴訟に関すること。○診療に関する患者・家族からの意見要望に関すること。等</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 124 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○採用者に対する医療安全講習会 ○心肺蘇生講習会（医師・看護師対象）○心肺蘇生講習会（医師・看護師対象以外の全職員対象）○患者と向き合う対話モデル：メディエーションの技法 ○講演会：医療訴訟ガイダンス ○医薬品の安全使用に関する研修 ○医療機器の安全使用に関する研修等</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)</p>	
<p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>インシデント報告事例は、医療安全室コアメンバー会議で原因分析・再発防止策の検討後、医療安全推進担当者会議で検討案の審議を行う。院内事例検討会を行う事例では、原因分析・再発防止策の検討、患者家族の反応の確認、診療録の確認を行う。原因分析や再発防止策の検討によって部署マニュアル等の改訂を行った際は、改訂版を医療安全室に提出し内容を確認する。また、医療安全管理者は、部署のリスクマネージャーや職場長に改善策の実施状況の聞き取りを行う。院内心肺蘇生報告に基づいた医療の検証、改善策の提言を行う。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(14)名</p>	
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○安全管理に関する医療機関内の体制構築に参画し、医療安全に係る委員会で中心的な役割を担い、安全管理上の問題提示、対策評価、質の向上のために必要な事項を提言する。○医療安全に関する職員への教育、研修の企画・運営・評価。○医療事故を防止するための情報収集と分析、対策・立案・評価。○事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
・ 指針の主な内容： ①院内感染対策に関する基本的考え方 ②院内感染管理体制 ③職員研修 ④感染症の発症状況の報告⑤院内感染発生時の対応 ⑥患者への情報提供と説明 ⑦その他の院内感染対策の推進	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 13 回
・ 活動の主な内容： ①院内感染の調査、予防対策の立案 ②予防対策実施の監視と助言、指導、勧告 ③職員の教育指導 ④院内感染対策の指針及びマニュアルの作成・見直し	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： ○ 新型インフルエンザについて：吹田市・大阪府の現状と感染対策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (① 有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ①検出菌報告（月報）を作成し、感染対策委員会で報告 ②検出菌報告（週報）を作成しICTラウンドに活用③多剤耐性菌検出時には、速やかに助言等の対応を実施 ④特定抗菌薬使用の届出の義務化 ⑤院内感染対策マニュアルの内容追加・変更と職員への周知	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容： ①新採用レジデント・専門修練医医療安全講義 ②新採用者医療安全講義（第1回） ③麻薬・KCLなどの危険薬の取り扱い ④新採用者医療安全講義（第2回） ⑤健康被害救済制度について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ((有) ・ 無) ・ 業務の主な内容： ①医薬品の採用 ②医薬品の購入 ③調剤室における医薬品の管理 ④病棟・各部門への医薬品の供給 ⑤外来患者への医薬品使用 ⑥在宅患者への医薬品使用 ⑦病棟における医薬品の管理 ⑧入院患者への医薬品使用 ⑨医薬品情報の収集・管理・提供 ⑩手術・麻酔部門 ⑪集中治療室（ICU・NCU） ⑫輸血・血液管理部門 ⑬生命維持管理装置領域 ⑭臨床検査部門、画像診断部門 ⑮他施設との連携 ⑯事故発生時の対応 ⑰教育・研修	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○メーカー及び医薬品医療機器総合機構等から随時情報収集し、院内webにてDIニュースとして発信。 ○重大情報・緊急情報については文書による回報を併せて行い、各職員が伝達確認票に押印のうえ、専任医療安全管理者が回収し、伝達状況を確認している。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 68 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○輸液ポンプ・シリンジポンプ・ルート作成、三方活栓の使用方法 ○NPPV勉強会 ○サーボ講習会 ○小児人工呼吸器 (Avea) 導入前研修 ○ICU成人人工呼吸器 (ハルトン) 導入前研修 ○在宅用人工呼吸器研修 ○血液浄化装置研修</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>○日常点検 (始業時点検・使用中点検・終業時点検) ○定期点検 (電气的安全点検・外観点検・機能点検・性能点検・定期交換部品等の交換等) ○故障時点検 (定期点検に準じた点検を行い故障箇所を特定する) ○機器の消毒清掃 (使用後機器の外装部などの清掃・消毒を行う)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○医薬品・医療機器安全情報をはじめ、メーカーからの提供情報、インターネットによる情報検索により、医療機器の安全使用関連情報収集し、医療安全推進委員会等で資料を配布し、各職場で伝達している。 ○伝達状況については、伝達確認票を回収し確認している。</p>	